

# 生駒市英語教育カリキュラム（案）



## 【目次】

1. 平成 32 年度(2020 年度)からの新学習指導要領全面実施に向けた  
英語教育推進実施計画
2. 生駒市の英語教育の全体像
3. 生駒市英語教育の CAN-DO リスト

## 【資料】

- 資料1. 小学校各学年年間指導計画(新学習指導要領移行期間)
- 資料2. 生駒市小学校における外国語活動及び外国語の授業について
- 資料3. 英語教育における小学校と中学校の連携に向けて

# 1. 平成32年度(2020年度)新学習指導要領全面実施に向けた英語教育推進実施計画

年度	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)	平成 32 年度 (2020 年度)	平成 33 年度 (2021 年度)
文部科学省		新学習指導要領告示		新学習指導要領移行措置期間 小学校教科書検定	小学校教科書採択 中学校教科書検定	新学習指導要領 全面実施【小学校】 中学校教科書採択	新学習指導要領 全面実施【中学校】
生駒市	★夏休み授業研修・英会話研修						
	★ALT コーディネーターの設置						
中学校	★生駒市英語教育推進委員会						
	★生駒市版 CAN-DO リストを活用した英語教育						
生駒市 5・6学年	小学校3・4学年 外国語活動の 取組を始める		小学校1・2学年 外国語活動の 取組を始める		小学校1・2学年 英語教材の作成	生駒市版 CAN-DO リストの作成	
	・【年 140 時間】 検定教科書使用: NEW CROWN						【年 140 時間】 ・検定教科書使用
生駒市 3・4学年	・ALT の配置、改善、研修						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語活動【年 35 時間】</li> <li>・文科省教材活用 : Hi, friends!</li> <li>・ALT 12 時間/クラス ・<small>ひく</small>ES11 時間/クラス</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語活動【年 50 時間】 (外国語活動 35 時間+総合的な学習 15 時間)</li> <li>・文科省教材活用 : Hi, friends! , We Can!</li> <li>・ALT 16 時間/クラス ・<small>ひく</small>ES12 時間/クラス</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語科【年 70 時間】</li> <li>・検定教科書使用</li> <li>・ALT 23 時間/クラス ・<small>ひく</small>ES12 時間/クラス</li> </ul>
生駒市 1・2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>★外国語活動【年 12 時間】</li> <li>・学校独自の教材を活用</li> <li>・ALT 12 時間/クラス</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>★外国語活動【年 35 時間 先行実施】 (総合的な学習 15 時間+教育課程外 20 時間)</li> <li>・文科省教材活用 : Let's Try!</li> <li>・ALT 16 時間/クラス</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>★外国語活動【年 35 時間】</li> <li>・文科省教材活用 :</li> <li>・ALT 16 時間/クラス</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>★外国語活動【年 10 時間】</li> <li>・学校独自の教材を活用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>★外国語活動【年 10 時間】</li> <li>・生駒市教材活用 : Ready Go !</li> <li>・ALT 10 時間/クラス</li> </ul>				

## 2. 生駒市の英語教育の全体像

### 【中学校卒業時の目指す子どもの姿】

1. 自分の夢や学び育った生駒について、英語で伝えることができる
2. 日常生活の身近な事柄について、英語で伝え合うことができる
3. 意欲的に国際交流に関わり、自ら進んで英語でコミュニケーションを図ることができる

### 【中学校(1・2・3学年)の目標】

- ①英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解し、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる技能を養う。
- ②日常的な話題や社会的な話題について、英語で表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- ③英語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

### 【小学校(5・6学年)の目標】

- ①言語活動を通して、読むこと、書くことに慣れ親しみながら、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによるコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を養う。
- ②身近で簡単な事柄について、話し合ったりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。
- ③外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

### 【小学校(3・4学年)の目標】

- ①体験的な活動を通して、日本語と外国語との音声の違いなどに気づくとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- ②身近で簡単な事柄について、英語で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- ③言語やその背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

### 【小学校(1・2学年)の目標】

- ①体験的な活動を通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- ②身近で簡単な事柄について、英語で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことに慣れ親しむようにする。
- ③主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

### 3. 小学校・中学校の9年間を通した生駒市英語教育のCAN-DOリスト

生駒市教育委員会 英語教育推進委員会

中学校卒業時の目指す子どもの姿

- ・自分の夢や学び育った生駒について、英語で伝えることができる
- ・日常生活の身近な事柄について、英語で伝え合うことができる
- ・意欲的に国際交流に関わり、自ら進んで英語でコミュニケーションを図ることができる

学年	英語理解の能力		英語表現の能力		
	聞くこと	読むこと	話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	書くこと
中学校 3年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境問題や平和問題などの社会的な話題について、短い説明であれば、話の要点をとらえることができる。</li> <li>・道案内や電話、買い物などの場面ではっきりと話されれば、相手の言っていることの要点を理解することができる。</li> <li>・英語のアナウンスを聞いて、自分の必要とする情報の概要を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・400語程度の社会的な話題についての説明やエッセイ、物語を読み、イラストや写真、図表なども参考にしながら、書き手が最も伝えたいことは何であるかを理解することができる。</li> <li>・物語などの文章から、登場人物の気持ちや情景、環境や文化などを読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的な話題に関して、ペアやグループになって意見交換をすることができる。</li> <li>・道案内や電話、買い物などの場面で、相手や状況に合わせて、丁寧な言い方で話し合うことができる。</li> <li>・話題に関連する質問を付け加えながら、会話を発展することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的な話題に関して、自分の考えたことや感じたこと、その理由などを要約し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。</li> <li>・聞き手に分かりやすいように、内容や順序を整理し、アイコンタクトや姿勢、表情などを工夫しながら笑顔ではっきりとスピーチすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えたことや感じたことなどを簡単な文に書き、[first]や[second]などを用いながら整理して文章にすることができる。</li> <li>・学び育った生駒の興味関心のあることについて、調べたことや自分の考え、思いを入れながら、全体の構成を考えて書くことができる。</li> </ul>
中学校 2年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はっきりと話されれば、学校生活や家庭生活に関する会話や説明について、全体的な内容を理解することができる。</li> <li>・道案内や電話、買い物などの場面ではっきりと話されれば、大まかな内容を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・300語程度の学校生活や家庭生活に関する短い説明やエッセイ、物語を読み、書き手が伝えたいことの大まかな内容を理解することができる。</li> <li>・短い文章から、キーワードを拾いながら読んだり、時系列に沿って整理したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身のことや興味のあることなど日常的な事柄について、メモにまとめ、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる。</li> <li>・道案内や電話、買い物などの場面で、簡単な語句や文を用いて、地図で示したりジェスチャーを加えたりしながら伝え合うことができる。</li> <li>・相手の話を受けて、自分のことを伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身のことや興味のあることなど日常的な事柄について、自分の考えや気持ちなどをまとめ、スピーチすることができる。</li> <li>・聞き手に分かりやすいように、内容や順序を整理し、アイコンタクトや姿勢、表情などを工夫しながらスピーチすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身のことや興味のあることなど日常的な事柄について、自分の考えや気持ちなどを入れながら、簡単な語句や文で書くことができる。</li> <li>・[and]や[but]、[then]を使って、簡単な文をつないでより長い文にすることができる。</li> <li>・将来の夢や、大切にしていることなどについての文章を5文以上で書くことができる。</li> </ul>
中学校 1年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はっきりと話されれば、学校生活や家庭生活に関する簡単な内容を聞いて、理解することができる。</li> <li>・道案内や買い物などの場面ではっきりと話されれば、自分の必要とする語句のいくつかを聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告やパンフレットなどの身近な情報から、自分が必要とする情報を読み取ることができる。</li> <li>・手紙やメールなどの短い文章を読み、内容を理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身のことや興味のあることについて、簡単な語句を用いて伝え合うことができる。</li> <li>・道案内や電話、買い物などの場面で、簡単な語句や文を用いてやり取りすることができる。</li> <li>・相手に聞き返したり相づちを打ちながら、会話を続けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の事や興味のあることについて、その場で考えを整理しながら簡単な語句を用いて話すことができる。</li> <li>・聞き手に分かりやすいように、アイコンタクトや姿勢、表情などを工夫しながらスピーチすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことについての簡単な文を書くことができる。</li> <li>・[and]や[but]、[because]のような語でつなげながら、簡単な文を書くことができる。</li> </ul>

		英語理解の能力		英語表現の能力		
学年	聞くこと	読むこと	話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	書くこと	
小学校 6年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆっくりはっきりと話されれば、思い出や将来の夢について、話の大まかな内容を理解することができる。</li> <li>・ゆっくりはっきりと話されれば、イラストや写真などを参考にしながら、友達や家族、学校生活や地域など身近な事柄について、必要な情報を聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思い出や将来の夢などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を推測しながら読み、大まかな内容が分かる。</li> <li>・イラストやパンフレットなどから、活字体で書かれた文字を見分け、その文字の読み方を発音することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の思い出や将来の夢について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝えたり、質問に対してその場で答えたりすることができる。</li> <li>・地域や国の良さや課題などについて、自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な質問に対してその場で答えたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メモを見ながら、友達など第三者のことについて紹介することができる。</li> <li>・中学校生活に向けて、やりたいことややってみたいことなどについて、伝えようとする内容をまとめた上で、自分の気持ちを話すことができる。</li> <li>・将来の夢や職業について、伝えようとする内容をまとめた上で、自分の考えや気持ちを話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットの大文字と小文字を書くことができる。</li> <li>・自分の毎日の生活、行ってみたい国や憧れの人などについて、例文を参考に、単語の順番などを意識しながら英語を書き写すことができる。</li> </ul>	
5 小学校 5年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆっくりはっきりと話されれば、家庭生活や学校生活などの身近な簡単な事柄について、話の大まかな内容を理解することができる。</li> <li>・ゆっくりはっきりと話されれば、日付や時刻、値段などの日常生活についての具体的な情報を聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国や憧れの人などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれた文を推測しながら読み、大まかな内容が分かる。</li> <li>・イラストやパンフレットなどから、活字体で書かれた文字を見分け、その文字の読み方を発音することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な語句や基本的な表現を用いて、レストランやお店で注文や料金の支払いをすることができる。</li> <li>・地図を用いながら、目的地までの道順を質問したり答えたりすることができる。</li> <li>・憧れの人のことについて、簡単な言葉を使って質問したり答えたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や資料を用いながら、自分の行ってみたい国や地域について、理由も含めて4文程度の説明をすることができる。</li> <li>・自分の毎日の生活について、時刻や場所などを入れながら説明することができる。</li> <li>・憧れの人のことについて、紹介することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットの大文字を書くことができる。</li> <li>・自分の毎日の生活についてや行ってみたい国、憧れの人などについて、例文を参考に、単語の順番などを意識しながら英語を書き写すことができる。</li> <li>・名前や年齢、趣味、好き嫌いなど、自分に関する簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書くことができる。</li> </ul>	
小学校 4年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆっくりはっきり話されれば、天気や曜日、時間について、また文房具などの持ち物、好きな食べ物など日常生活に関する身近で簡単な事柄について聞き、大まかな内容を理解することができる。</li> <li>・日常的な英語の挨拶や教室での簡単な指示(クラスルーム・イングリッシュ)を、理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローマ字で書かれた自分の名前のアルファベットを、発音することができる。</li> <li>・身近なものからアルファベットの小文字で書かれているものを探し、発音することができる。</li> <li>・フォニックスを通して、文字と発音との結びつきがあることに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をすることができる。</li> <li>・身の回りの物について、何が好きなかを質問したり答えたりすることができる。</li> <li>・自分の好きなことや欲しいもの、お気に入りの場所などについて、理由も入れながら簡単な語句や基本的な表現を用いて話し合うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表情やジェスチャーを工夫し、自分の考えや気持ちを入れながら、4文程度の自己紹介をすることができる。</li> <li>・自分の好きなことや欲しいもの、お気に入りの場所などについて、理由も入れながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットを使って、自分の名前を書くことができる。</li> </ul>	

学年	英語理解の能力		英語表現の能力		
	聞くこと	読むこと	話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	書くこと
小学校 3年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆっくりはっきり話されれば、数や好きなものなどについての話を聞き、大まかな内容を理解することができる。</li> <li>・日常的な英語の挨拶や教室での簡単な指示(クラスルーム・イングリッシュ)を、理解することができる。</li> <li>・アルファベットが読まれているのを聞き、どの文字であるかが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大文字のローマ字で書かれた自分の名前前のアルファベットを、発音することができる。</li> <li>・身近なものからアルファベットの大文字で書かれているものを探し、発音することができる。</li> <li>・フォニックスを通して、文字と発音との結びつきがあることに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をすることができる。</li> <li>・身の回りの物について、何が好きなかを質問したり答えたりすることができる。</li> <li>・色や形などを質問しながら、ある物が何かを当てるクイズを出したり答えたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表情やジェスチャーを工夫しながら、3文程度の自己紹介をすることができる。</li> <li>・身の回りの物について、色や形などで説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットを使って、自分の名前を書き写すことができる。</li> </ul>
小学校 2年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な表現でゆっくりはっきり話されれば、相手が欲しがっている野菜や果物などが分かる。</li> <li>・体の部位や野菜、果物、乗り物など、自分自身や身の回りの物についての単語を聞き、そのイラストと結びつける。</li> <li>・1から20までの数字を聞き取る。</li> <li>・日常的な英語の挨拶や教室での簡単な指示(クラスルーム・イングリッシュ)が分かる。</li> <li>・アルファベットが読まれているのを聞き、どの文字であるかを推察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットの小文字を見て、その読み方を発音する。</li> <li>・フォニックスを通して、文字と発音との結びつきがあることに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表情やジェスチャーを工夫しながら、挨拶や自分の気持ちを伝え合う。</li> <li>・ジェスチャーや絵を用いて、好きな食べ物や、欲しいもの、またその数について、基本的な表現で質問をしたり答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表情やジェスチャーを工夫しながら、自己紹介をする。</li> <li>・ジェスチャーや絵を用いて、基本的な表現で、好きな食べ物や欲しいもの、またその数について伝える。</li> </ul>	
小学校 1年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な表現でゆっくりはっきり話されれば、相手の好きな色や形、動物などが分かる。</li> <li>・日常的な英語の挨拶や教室での簡単な指示(クラスルームイングリッシュ)について、授業者やALT、友達の動きを見ながら分かる。</li> <li>・色や形、動物、曜日など身近な単語を聞き、その単語のイラストと結びつける。</li> <li>・アルファベットが読まれているのを聞き、どの文字であるかを推察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットの大文字を見て、その読み方を発音する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表情やジェスチャーを工夫しながら、挨拶や自分の気持ちを伝え合う。</li> <li>・ジェスチャーや絵を用いて、好きな色や形、動物などを質問をしたり答えたりする。</li> <li>・ペアやグループになって、英語でじゃんけんをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表情やジェスチャーを工夫しながら、自己紹介をする。</li> <li>・ジェスチャーや絵を用いて、基本的な表現で、好きな色や形、動物等を伝える。</li> </ul>	



## 【資料1】 小学校各学年年間指導計画

# 小学校全学年年間指導計画

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
	READY... GO!1	READY... GO!2	Let's Try!1	Let's Try!2	Hi, friends!1 We Can!1	Hi, friends!2 We Can!2	
4月			<b>Unit 1</b> Hello! あいさつして友達になろう	<b>Unit 1</b> Hello, world! 世界のいろいろなことばであいさつしよう	<b>Unit 1 (WC1-1)</b> Hello, every one. アルファベット 自己紹介	<b>Unit 1 (WC2-1)</b> This is me! 自己紹介	4月
5月			<b>Unit 2</b> How are you? ごきげんいかが?	<b>Unit 2</b> Let's play cards. 好きな遊びを伝えよう	<b>Unit 2 (HF1-3)</b> How many? いろいろなものを数えよう	<b>Unit 2 (WC2-3)</b> He is famous. She is great. 人物紹介	5月
6月	<b>Unit 1</b> Hello! あいさつをしよう	<b>Unit 1</b> Hello! あいさつをしよう	<b>Unit 3</b> How many? 数えてあそぼう	<b>Unit 3</b> I like Mondays. 好きな曜日は何かな?	<b>Unit 3 (HF1-5)</b> What do you like? ともだちにインタビューしよう	<b>Unit 3 (HF2-2)</b> When is your birthday? 友達の誕生日を調べよう	6月
			<b>Unit 4</b> I like blue. 好きなものをつたえよう				
7月	<b>Unit 2</b> How are you? からだのちょうしをきいてみよう	<b>Unit 2</b> Wash your hands? 手をあらおう		<b>Unit 4</b> What time is it? 今何時?	<b>Unit 5 (WC1-2)</b> When is your birthday? 行事・誕生日	<b>Unit 5 (WC2-5)</b> My Summer Vacation 夏休みの思い出	7月
9月			<b>Unit 5</b> What do you like? 何が好き?	<b>Unit 5</b> Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう			<b>Unit 6 (WC1-3)</b> What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業
10月	<b>Unit 3</b> I like animals. 好きなどうぶつをつたえよう	<b>Unit 3</b> How many? (1~20) いろいろなものを数えよう	<b>Unit 6</b> ALPHABET アルファベットとなかよし	<b>Unit 6</b> Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう	<b>Unit 7 (WC1-4)</b> What time do you get up? 一日の生活	<b>Unit 6 (HF2-5)</b> Let's go to Italy. 友達を旅行にさそおう	10月
11月							<b>Unit 7</b> This is for you. カードをおくろう
12月	<b>Unit 4</b> What color do you like? 好きないろやかたちをきいてみよう	<b>Unit 4</b> What do you want? ほしいものをつたえよう		<b>Unit 7</b> This is for you. カードをおくろう	<b>Unit 9 (WC1-6)</b> I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域	<b>Unit 8 (HF2-8)</b> What do you want to be? 「夢宣言」をしよう	12月
1月			<b>Unit 8</b> What's this? これなあに?	<b>Unit 8</b> This is my favorite place. お気に入りの場所をしょうかいしよう			<b>Unit 10 (WC1-7)</b> Where is the treasure? 位置と場所
2月	<b>Unit 5</b> What day is it today? きょうはなんようびかきいてみよう	<b>Unit 5</b> Do you like vegetables? 野菜が好きな、聞いてみよう	<b>Unit 9</b> Who are you? きみはだれ?		<b>Unit 9</b> This is my day. ぼく・わたしの一日	<b>Unit 10 (WC2-9)</b> Junior High School Life 中学校生活・部活動	2月
3月							
					<b>Unit 12 (WC1-9)</b> Who is your hero? あこがれの人		

1年生 年間指導計画

単元 (時数)	教材	単元名 (Unit)	表現例・活動例
1 (1)	RG ①-1	Hello! あいさつをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Hello. What is your name?/My name is ~.</li> <li>• Nice to meet you./Nice to meet you too.</li> <li>• Goodbye.</li> <li>• 【歌】Hello, Nice to Meet You/See You Later (See You Again)/London Bridge/The ABC Song/Clean Up</li> <li>• 【ABC chant】</li> </ul>
2 (2)	RG ①-2	How are you? からだの ちょうしを きいてみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Hello. How are you?/I am fine. Thank you/And you?/I am ___./Thank you.</li> <li>• 【歌】Hello, Nice to Meet You/If You're Happy/See You Later(See You Again)/The ABC Song/Clean Up</li> <li>• 【ABC chant】</li> </ul>
3 (2)	RG ①-3	I like animals. すきなどうぶつを つたえよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>• It is a ___.</li> <li>• Is it big or small?/It is small./It is big.</li> <li>• Do you like ___?/Yes, I do./No, I don't.</li> <li>• I like ___./I don't like ___.</li> <li>• 【歌】If You're Happy/Big or Little Animal/See You Later, Alligator/Who is in the zoo?/The ABC Song /Clean Up</li> <li>• 【ABC chant】【ABC 色塗り】</li> </ul>
4 (3)	RG ①-4	What color do you like? すきないろやかたちを きいてみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>• What is this?/It is a (triangle).</li> <li>• What color is this?/It is (red).</li> <li>• What color do you like?/I like (blue).</li> <li>• 【歌】 Big or Little Animal/The ABC Song/Clean Up /I See Something Pink/The Shape Song #1/See You Later, Alligator</li> <li>• 【ABC chant】【ABC 色塗り】</li> </ul>
5 (2)	RG ①-5	What day is it today? きょうはなんようびか きいてみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>• What day is it today?/It is Monday.</li> <li>• Today is Monday.</li> <li>• 【歌】Hello, Nice to meet you/The ABC Song/Clean Up/What Day Is It Today?/See You Later(See You Again)</li> <li>• 【ABC chant】 【ABC 色塗り】</li> </ul>

## 2年生 年間指導計画

単元 (時数)	教材	単元名 (Unit)	表現・活動例
1 (1)	R G ② - 1	Hello! Nice to meet you. あいさつをしよう	Hello. My Name is _____. What's your name? How are you?/I am _____ and you? Nice to meet you./Nice to meet you too. 【歌】Hello, Nice to Meet You/What Day Is It Today?/If You're Happy/See You Later(See You Again.) 【ABC chant】
2 (2)	R G ② - 2	Wash your hands. てをあらおう	Touch your _____. Wash your _____. 【歌】Hello Hello!/One Little Finger/Around a Circle/The Bath Song 【ABC chant】
3 (2)	R G ② - 3	How many? いろいろなものを かぞえよう	How many? How old are you? I'm _____. 【歌】Stand Up, Sit Down/How Many Fingers/ Around a Circle/See You Later(See You Again) 【ABC chant】
4 (2)	R G ② - 4	What do you want? ほしいものを つたえよう	What do you want? I want a _____. What color do you want? I want (blue) 【歌】 Stand Up, Sit Down/It's a Big Bus/See You Later(See You Again) 【ABC chant】
5 (3)	R G ② - 5	Do you like vegetables? やさいがすきか、 きいてみよう	Do you like ____? Yes, I do./No, I don't. I like bananas./I don't like bananas. 【歌】It's a Big Bus/Carrots Are Yummy/Bye Bye Goodbye/See You Later(See You Again) 【ABC chant】

【参考】 1年生2年生の歌・絵本

◆歌 CD Super Simple Songs

- 1- 4 One Little Finger
- 1- 7 Clean Up!
- 1- 8 If You're Happy
- 1-11 I See Something Pink
- 1-16 The Bath Songs
- 2-13 The Shape Songs #1
- 2-18 Mystery Box
- 2-21 See You Later, Alligator
- 3- 1 Hello Hello!
- 3-19 Bye Bye Goodbye

◆歌 CD Fun Kids Songs

- 1- 5 The ABC Song
- 1-16 Stand Up, Sit Down
- 2- 2 Hello, Nice to Meet You!
- 1- 4 It's a Big Bus
- 2- 9 Big or Little Animal
- 2-11 What Day Is It Today?
- 2-15 Carrots Are Yummy
- 2- 3 1 Hand 2 Hands
- 3-10 Around a Circle
- 3-17 See You Later(See You Again)

◆絵本

- 1. Brown Bear Brown Bear. What do you see? Eric Carle
- 2. From Head to Toe Eric Carle
- 3. Today is Monday Eric Carle
- 4. A Beautiful Butterfly Mikiko Nakamoto
- 5. The Very Busy Spider Eric Carle
- 6. The Very Hungry Caterpillar Eric Carle

### 3年生 年間指導計画

単元 (時数)	教材	タイトル・題材	表現	主な活動
1 (2)	L T ① - 1	Hello! あいさつをして友達に なろう	Hello. Hi. I'm (Hinata). Goodbye. See you.	・映像資料を視聴し、世界には様々な言語 があることを知る。 ・名前を言って挨拶をする。
2 (2)	L T ① - 2	How are you? ごきげんいかが?	How are you? I'm (happy).	・友達と挨拶をして、ジェスチャーを交えて 自分の様子や状態を伝える。
3 (4)	L T ① - 3	How many? 数えてあそぼう	How many apples? Ten apples.	・身の回りの物の数や、好きな漢字の画 数を尋ねたり答えたりして伝え合う。
4 (4)	L T ① - 4	I like blue. 好きなものをつたえよう	I like blue. Do you like blue? Yes, I do./No, I don't. I don't like blue.	・映像資料を視聴し、世界の子供たちの 描く虹の絵を見て違いに気付く。 ・友達の好き嫌いを予想してインタビュー する。 ・自分の好きなものを言って自己紹介をす る。
5 (4)	L T ① - 5	What do you like? 何が好き?	What do you like? I like tennis. What (sport) do you like? I like soccer.	・どのような物が好きかを尋ねたり答えたり して伝え合う。
6 (4)	L T ① - 6	ALPHABET アルファベットとなかよ し	The "A" card, please. Here you are. Thank you. You're welcome.	・映像資料を視聴し、大文字の様々な表示 を見て何を表しているかを考える。 ・児童用テキスト誌面から大文字を探す。 ・自分の姓名の頭文字を伝え合う。
7 (5)	L T ① - 7	This is for you. カードをおくろう	What do you want? A star, please. Here you are. This is for you. Thank you. You're welcome.	・プレゼントするカードを作るために、欲しい 色や形を尋ねたり答えたりする。 ・作成したカードを見せて紹介する。
8 (5)	L T ① - 8	What's this? これなあに?	What's this? Hint, please. It's a fruit. It's green. It's a melon. That's right.	・映像資料を視聴し、ある物が何かを考え て答える。 ・あるものについてのヒントを聞いて、それが 何かを考えて答える。 ・あるものについてヒントを考え、クイズを出 したり答えたりする。
9 (5)	L T ① - 9	Who are you? ～"In the Autumn Forest"～ きみはだれ?	Are you (a dog)? Yes, I am./No, I'm not. Who are you? I'm (a dog). Who am I? Hint, please.	・絵本の読み聞かせを聞いたり、絵本につ いての質問に答えたりする。 ・台詞を真似て言う。

## 4年生 年間指導計画

単元 (時数)	教材	タイトル・題材	表現	主な活動
1 (2)	L T ② I 1	Hello, world! 世界のいろいろなことば であいさつをしよう	Hello. Good [morning/afternoon /night]. I like (strawberries). Goodbye. See you.	・映像資料を視聴し、世界の様々な 挨拶の言い方を知る。 ・ペアで名前を言って挨拶をする。
2 (4)	L T ② I 2	Let's play cards. 好きな遊びを伝えよう	How's the weather? It's sunny. Let's play cards. Yes, let's. Sorry.	・映像資料を視聴し、世界や日本各 地の子供たちの遊びについて知る。 ・好きな遊びを尋ねたり答えたりす る。 ・自分の好きな遊びを言って、誘う。
3 (3)	L T ② I 3	I like Mondays. 好きな曜日は何かな?	What day is it? It's Monday. Do you like Mondays? Yes, I do. I like (Mondays).	・曜日を尋ねたり答えたりし、自分 の好きな曜日を伝え合う。
4 (4)	L T ② I 4	What time is it? 今、何時?	What time is it? It's (8:30). It's (homework time). How about you?	・イラストなどを参考に、一日の生活 の中の自分の好きな時間を伝え合 う。
5 (4)	L T ② I 5	Do you have a pen? おすすめの文房具セット をつくろう	Do you have a pen? Yes, I do. I have a pen. This is for you.	・文房具についてやり取りをし、自分 の文房具セットを作る。 ・身近な人に文房具セットを作り、誰 のためにどのようなセットを作ったか を紹介する。
6 (4)	L T ② I 6	Alphabet アルファベットで文字遊 びをしよう	Look. What's this? Hint, please. How many letters? I have six. Do you have a 'b'? Yes, I do. That's right. Sorry. Try again.	・アルファベットの文字をヒントに、単 語当てクイズをする。
7 (5)	L T ② I 7	What do you want? ほしいものは何かな	What do you want? I want (potatoes), please. How many? (Two), please. Here you are. Thank you.	・相手に勧めたいオリジナルメニュー を作るために、買い物の場面で必要 な食材についてやり取りをする。 ・作ったオリジナルメニューを見せな がら紹介する。
8 (4)	L T ② I 8	This is my favorite place. お気に入りの場所をしよ うかいしよう	Go straight. Turn [right/left]. Stop. This is (the music room). This is my favorite place. Why? I like (music).	・映像資料を視聴し、世界の子供た ちと自分たちの学校生活の共通点 と相違点を知る。 ・校内を案内する。 ・ペアで校内のお気に入りの場所に ついて紹介し合う。
9 (5)	L T ② I 9	This is my day. ~"Good Morning"~ ぼく・わたしの一日	I wake up (at 6:00). I eat breakfast (at 7:00). I go to school. I go home. I take a bath.	・絵本の読み聞かせを聞いたり、絵 本についての質問に答えたりする。 ・校内の先生の生活について聞き、 どの先生かを当てる。

## 5年生 年間指導計画

単元 (時数)	教材	タイトル・題材	表現	主な活動
1 (4)	W C 1	Hello, everyone. アルファベット・ 自己紹介	Hello, I'm _____. Nice to meet you. How do you spell your name? K-O-S-E-I. I like _____. What _____ do you like? I like _____ very much. I want _____.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像資料を視聴し、身の回りに英語が使われている場面があることに気付くとともに、英語を学習することで世界が広がることを知る。</li> <li>・自己紹介を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、必要な情報を得たりする。</li> <li>・好きなもの、欲しいものなどを含めて自己紹介をする。</li> <li>・活字体の文字で自分の名前を書いたり、そのつづりを言ったりする。</li> </ul>
2 (4)	H F 3	How many? 数身の回りの物	How many _____? Five pencils.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誌面のリングに色を塗り、いくつリングを持っているか尋ね合い、同じ数のリングを持った仲間を見つける。</li> <li>・グループで数に関するクイズをつくり、クイズを出したり答えたりする。</li> </ul>
3 (4)	H F 5	What do you like? 色 形	What do you like? What _____ do you like? I like _____.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなものを紹介し合う。</li> <li>・どのような色や形が好きかをインタビューする。</li> </ul>
4 (4)	H F 7	What's this? 身の回りの物	What's this? It's _____.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある物についてのヒントを聞いて、それが何かを考えて答える。</li> <li>・ある物についてヒントを考え、クイズを出したり答えたりする。</li> </ul>
5 (4)	W C 2	When is your birthday? 行事・誕生日	When is your birthday? My birthday is _____. What _____ do you like? Do you like _____? Yes, I do. No, I don't. I like _____. Do you want _____? What do you want for your birthday? I want _____. This is for you. Thank you. You're welcome. Happy birthday.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像資料を視聴し、世界の行事やそれがどのような行事かを知る。</li> <li>・誕生日や欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</li> <li>・カードを作成し、贈り合う。</li> </ul>
6 (4)	W C 3	What do you have on Monday? 学校生活・ 教科・職業	Do you have (P.E) on (Monday)? Yes, I do. No, I don't. What do you have on _____? I study _____. I want to be _____. I want to study _____.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像資料を視聴し、世界には様々な学校生活があることを知る。</li> <li>・活字体の小文字を読んだり書いたりする。</li> <li>・ある職業に就くためのオリジナル時間割を作成する。</li> <li>・オリジナル時間割を、クイズ形式で紹介する。</li> </ul>



7 (4)	W C 4	What time do you get up? 一日の生活	What time do you (get up)? I (usually) (get up) at (7:00).	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像資料を視聴し、世界の子供たちの一日の生活について知る。</li> <li>・日常生活について尋ねたり答えたりする。</li> <li>・活字体の小文字を読んだり書いたりする。</li> <li>・自分の日常生活を頻度も含めて紹介する。</li> </ul>
8 (5)	W C 5	She can run fast. He can jump high. できること	Can you (sing well)? Yes, I can./No, I can't. [I/You/He/She] [can/can't] (sing well).	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者ができること、できないことを尋ねたり答えたりする。</li> <li>・校内の先生についてできること、できないことを含めて紹介する。</li> <li>・文字の音に慣れ親しみ、活字体の文字を読んだり書いたりする。</li> <li>・スポーツをすることなどについて、簡単な語句を書き写す。</li> <li>・アルファベットジングルを言う。</li> </ul>
9 (4)	W C 6	I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域	Where do you want to go? I want to go to ____. Why? I want to see ____. I want to eat ____. I want to buy ____. It's [exciting/delicious /beautiful/great/fun]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像資料を視聴し、世界の国々には、それぞれの名所や名産、郷土料理などがあることを知る。</li> <li>・海外旅行を紹介して勧めたり、行きたい旅行を理由を含めて選んだりする。</li> <li>・文字の音に慣れ親しみ、活字体の文字を読んだり書いたりする。</li> <li>・ポスターやパンフレットなどにある視覚情報を伴う語句を読み、自分が必要とする情報を得る。</li> </ul>
10 (4)	W C 7	Where is the treasure? 位置と場所	Where is the treasure? Go straight (for three blocks). Turn [right/left] (at the third corner). You can see it on your [right/left]. It's on (the desk).	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある物の場所や物の位置関係について説明を聞き、道案内をしたり宝探しをしたりする。</li> <li>・文字の音に慣れ親しみ、活字体の文字を読んだり書いたりする。</li> </ul>
11 (4)	W C 8	What would you like? 料理・値段	What would you like? I'd like ____. It's for (my brother). How much? It's ____ yen. Here you are. Thank you.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な言い方で料理の注文を尋ねたり、答えたりする。</li> <li>・誰のためにどんなメニューを考えたのかについて理由を含めて短い話をしたり、相手の説明を聞いて必要な情報を聞き取ったりする。</li> <li>・感想を伝えたり質問したりする。</li> <li>・文字の音に慣れ親しみ、活字体の文字を読んだり書いたりする。</li> </ul>
12 (5)	W C 9	Who is your hero? あこがれの人	Who is your hero? This is my hero. [He/She] is good at ____. He can _____. She is _____. [kind/cool/great/strong/gentle/active/brave/funny]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分があこがれたり尊敬したりする人について説明し、その人に対する自分の考えや気持ちなどを 3, 4 文程度で紹介する。</li> <li>・文字の音に慣れ親しみ、活字体の文字を読んだり書いたりする。</li> <li>・語と語の区切りに注意して、ある人を紹介している簡単な語句や基本的な表現を書き写す。</li> </ul>

## 6年生 年間指導計画

単元 (時数)	教材	タイトル・題材	表現	主な活動
1 (4)	W C 1	This is me. 自己紹介	I'm from _____. I like _____. I can____. I am good at _____. My birthday is _____. My nickname is _____. What _____ do you like? What is your favorite _____? When is your birthday?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介をし合う。</li> <li>・自分の名前を活字体の文字で書く。</li> <li>・絵本の読み聞かせを聞いたり、一緒に台詞を言ったりする。</li> </ul>
2 (5)	W C 3	He is famous. She is great. 人物紹介	I am _____. I like _____. I play _____.I have _____. I want a new _____. I eat _____. I study _____. I can _____. Who is this? [He/She] is [famous/ great].	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や第三者についてできることやできないことなどをヒントにしたクイズを出題したり、答えたりする。</li> <li>・絵カードを並べて文を作る。</li> <li>・絵本の読み聞かせを聞いたり、一緒に台詞を言ったりする。</li> </ul>
3 (4)	H F 2	When is your birthday? 行事・月・日付	When is your birthday? My birthday is _____.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の誕生日を調べる。</li> <li>・簡単な語を書き写して、バースデーカードを作成する。</li> <li>・やり取りをしてバースデーカードを届ける。</li> </ul>
4 (6)	W C 4	I like my town. 自分たちの町・地域	We have/don't have (a park). We can(see many flowers). We can enjoy [fishing/ shopping/swimming]. I want a [library/park]. (Sakura) is a nice town.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にある施設あるいは、ない施設等を紹介し、自分たちの町について考えや気持ちを伝え合う。</li> <li>・例を参考に町のミニポスターを作成する。</li> <li>・絵本の読み聞かせを聞いたり、一緒に台詞を言ったりする。</li> </ul>
5 (6)	W C 5	My Summer Vacation 夏休みの思い出	I went to (my grandparents' house). I enjoyed (fishing). I saw (the blue sea). I ate [ice cream]. It was [fun/exciting /beautiful/delicious].	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの思い出を伝え合い、来年の夏休みを一緒に過ごしたいと思う友だちをたくさん見つける。</li> <li>・夏休みの思い出を、例を参考に書く。</li> <li>・絵本の読み聞かせを聞いたり、一緒に台詞を言ったりする。</li> </ul>
6 (4)	H F 5	Let's go to Italy. 世界の国々 世界の生活	I want to go to Italy. Where do you want to go? Let's go.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おすすめの国について紹介し合う。</li> <li>・行きたい国について尋ね合う。</li> <li>・行きたい国の国名を書き写し、行きたい国のポスターを作成する。</li> </ul>
7 (5)	H F 6	What time do you get up? 一日の生活を紹介しよう	I get up at (seven). What time do you get up?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の一日を紹介し合う。</li> <li>・起床,就寝時刻等を尋ね合う。</li> <li>・一日の生活に関する簡単な語句を書き写す。</li> </ul>

8 (4)	H F - 8	What do you want to be? 職業・将来の夢	I want to be a (teacher). What do you want to be?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような職業に就きたいか尋ね合う。</li> <li>・自分の将来の夢について紹介し合う。</li> </ul>
9 (6)	W C - 7	What's your best memory? 小学校生活・思い出	<p>What's your best memory? My best memory is (sports day).</p> <p>We enjoyed (running). We [went to (Kyoto) /ate (Japanese food) /saw (old temples) /enjoyed (the trip)].</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像資料を視聴し、世界には様々な学校生活があることを知る。</li> <li>・思い出の学校行事について尋ねたり答えたりする。</li> <li>・思い出のアルバムを作って、それをもとに小学校の思い出を紹介する。</li> <li>・紹介したことを、例を参考に書く。</li> <li>・絵本の読み聞かせを聞いたり、一緒に台詞を言ったりする。</li> </ul>
10 (6)	W C - 9	Junior High School Life 中学校生活・部活動	<p>I like ____.</p> <p>I want to join the (basketball team). What club do you want to join?</p> <p>I want to enjoy (sports day). What event do you want to enjoy?</p> <p>I want to [study hard /read many books /make many friends].</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校で入りたい部活動や楽しみたい行事について尋ねたり答えたりする。</li> <li>・部活動や学校行事を含めて中学校での期待を発表する。</li> <li>・発表したことを、例を参考に書く。</li> <li>・映像資料を視聴し、身の回りに英語が使われている場面があることに気付くとともに、英語を学習することで世界が広がることを知る。</li> <li>(WC 1 -U 1 Let's Watch and Think 1)</li> <li>・絵本の読み聞かせを聞いたり、一緒に台詞を言ったりする。</li> </ul>



## 資料2. 小学校における外国語活動及び外国語の 授業について

## 小学校における外国語活動及び外国語の授業について

### 1. 平成 31 年度小学校外国語活動の指導体制について

#### (1) 授業時数

1 年生 2 年生 (授業時数 10 時間)	HRT+ALT	10 時間
3 年生 4 年生 (授業時数 35 時間)	HRT+ALT	16 時間
	HRT	19 時間
5 年生 6 年生 (授業時数 50 時間)	HRT+ALT	16 時間
	HRT+わくわく	12 時間
	HRT	22 時間

ALT:外国語指導助手 (Assistant Language Teacher)

HRT:学級担任 (Home Room Teacher)

わくわく:わくわくイングリッシュサポーター

#### (2) ALT 等とのチーム・ティーチング (T・T) について

・英語の授業は、原則学級担任が年間指導計画や到達目標をもとに、授業の流れを考え、視聴覚機器や ICT 機器を活用しながら進めていく。ALT やわくわくイングリッシュサポーターとのチーム・ティーチングを行う時は、事前に打ち合わせの上、原則学級担任が主となって授業を行う。

※ALT やわくわくイングリッシュサポーターは、教員免許を所持していないため、単独での指導はできない。

#### 《チームティーチングの役割と効果》

##### 【学級担任の役割】

##### ○授業のコーディネーター

- ・「児童の言いたいことを引き出す」「英語で言えないことを代弁する」など、児童の学習をサポートする。
- ・児童の反応を見て、ALT 等の発言を止め、繰り返させたり、ゆっくり言わせたりするなど、ALT 等と児童をつなぐ。

##### ○授業をデザインする

- ・児童の発達段階に応じた内容、他教科などに関連させるなど、児童の興味・関心を生かした活動を考える。

##### 【ALT 等の役割】

##### ○コミュニケーションの相手

- ・実際に英語を使う体験
- ・外国の人に直接触れる体験

##### ○ネイティブ・スピーカーとしての英語力

- ・生きた英語によるインプット
- ・発音のモデル

(文科省 小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック P108~P113 より引用)

## 2. 指導の留意点

### (1) 子どもたちが、主体的に活動できる外国語活動に

- ① 授業は、英語での指示・発問が望ましい。短い指示・発問であれば、毎回繰り返し活動することで、理解できるようになる。
- ② ジェスチャーやフラッシュカード、写真、記号等を用いて、意味がわかるように工夫を凝らす。英語の意味がわからなくても、何を言っているのかを想像させることが大切である。
- ③ アクティビティの前に、ダイアログの練習を十分に行う。アクティビティは、子どもたちが英語を用いて話すことに挑戦し、達成感を多く感じる場に行いたい。練習では、列指名などで簡単に子どもの実態を把握し、誰もがアクティビティに参加できるように工夫したい。
- ④ 単語やダイアログの練習は、オウム返しのように繰り返し練習するだけでなく、提示されたカードをもとに、自ら考え、発声する機会を作りたい。繰り返しを言わせるだけでは、実力で発声したとは言えない。
- ⑤ 失敗を指摘したり注意したりするのではなく、少しの成果を大いに褒めたい。気になる間違いに対しては、リキャストでさりげなく正しい英語で返事をしながら気付かせてあげたい。

#### 《単語やダイアログの練習例》

- フラッシュカード等を繰り返して練習する際は、1回目は単語を2回ずつリピートし、2回目は1回ずつリピートする。3回目は、指導者は何も言わず、カードを見て子どもだけで発声する。
- 場合によっては、ジェスチャーを交えて発声する。
- 指導者がフラッシュカードを見せて、「What's this?」と質問し、子どもたちが「It's \_\_\_\_ .」と答える。これをテンポよく繰り返し練習する。
- 逆に、子どもたちが「What's this?」と質問し、指導者がフラッシュカードを示しながら答えを言う。
- 席順の右半分と左半部分をAグループ、Bグループと分ける。Aグループが「問いの文」を言い、Bグループが「答えの文」を言う。指導者は、答えのフラッシュカードをテンポ良く示し、問い掛けの会話を繰り返し練習する。

### (2) 1時間の授業のパターンを作る

授業の基本パターンを作れば、学習するダイアログが変わっても、授業の準備に対する負担が軽減する。また、子どもたちにとっても、見通しを持って授業を受けることができる。

生駒市の低学年のカリキュラムでは、以下のような流れになっている。

### 《1年生2年生の外国語活動カリキュラムの授業構成》

- ① ウォーミングアップ(英語の時間の雰囲気作り、動機づけ)
  - ・ハローソング
  - ・前時までに親しんだ表現の復習(挨拶、会話)
- ② アルファベットの学習
  - ・歌、チャンツ、フォニックス、色ぬり
- ③ アクティビティ(めあてを達成させるための活動)
  - ・新出語句の練習
  - ・新出ダイアログの練習(フラッシュカード、歌、ゲーム活動等)
  - ・コミュニケーション活動、自己表現活動(インタビュー、ゲーム活動等)
- ④ 絵本の読み聞かせ
- ⑤ 本時の振り返り(学習の喜びや充実感の醸成)
  - ・振り返りシート
  - ・Goodbye song
  - ・終わりの挨拶

本時のメイン活動「アクティビティ」では、ALT とデモンストレーションを行い、会話の状況設定を示す。日本語に頼らず、実物やジェスチャーを使って推測させながら、活動の方法を把握させる。

絵本の読み聞かせでは、絵を手掛かりに内容を推測させながら、たくさんの英語を聞かせる。

1時間の授業の流れが見えるように、右図のように掲示すると効果的である。

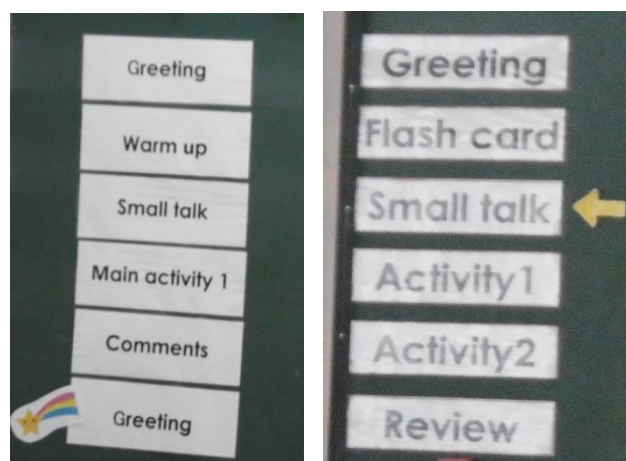


図:1時間の流れが分かる掲示例

(参照:文科省 小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック P175~P181)

### (3) 日常の中に英語と触れ合える機会をつくる。

#### ① クラスルームイングリッシュの活用

外国語活動の授業では、研修ガイドブック P118 ~P123 を参考に積極的にクラスルームイングリッシュを用いる。日常の学校生活の中でも、配布物を配るときに「Here you are.」「Thank you.」と声を掛け合ったり、「How is the weather?」「Make pairs.」「What color is it?」など授業でよく使うフレーズに触れたりすることで、子どもたちは英語を身近に感じることができる。主体的に話そうとする環境づくりができる。

#### ② 掲示物の工夫

教室掲示や階段のステップ、また身の回りの物に対して、英語に関連する掲示をすることで、身近に英語に触れ合える環境になる。



### 3. 授業で使える、教材、教具、資料等の紹介

#### (1) 生駒市小学校外国語活動カリキュラム、指導案(1年生・2年生)等

教育サイボウズ➡ファイル管理➡英語教育(外国語活動)関連 よりアクセス

#### (2) 文部科学省研修ガイドブック、「We Can!」「Let's Try!」の文部科学省指導案例等

教育サイボウズ➡ファイル管理➡英語教育(外国語活動)関連 よりアクセス

#### (3) 文部科学省教材「We Can!」「Let's Try!」デジタル教材

教科書内容の音声や動画、音楽、また、素材集が入っている。

教育サーバーにインストール済み。各 PC にショートカットがある。

※事前に教室で動作確認をしておくこと。

#### (4) 生駒市外国語活動教材「Ready…Go!」(1年生・2年生)

生駒市オリジナル英語教育教材。

#### (5) 音楽 CD

・Super Simple Songs ①②③(各小学校へ配布)

・Fun Kids Songs ①②③ (各小学校へ配布)

#### (6) 絵本

・Brown Bear, Brown Bear, What do you see?   ・The Very Busy Spider.

・A Beautiful Butterfly   ・Today is Monday.

・The Very Hungry Caterpillar   ・The Little Red Hen.

(各小学校へ配布)

#### (7) Super Simple ホームページ <https://supersimpleonline.com/>

「Free Resource」➡CD に収録されている曲の動画、フラッシュカードやカルタカードの素材集を活用することができる。

#### (8) Fun Kids Songs ホームページ <http://funkidsenglish.com/>

「Free Resource」➡CD に収録されている曲の動画、フラッシュカードやカルタカードの素材集を活用することができる。

## 4. 授業で使えるアクティビティの紹介

### (1) ポインティングゲーム

- ・ 指導者が言った単語を、イラストの中から選び、指で押さえる。
- ・ 隣の人と正しく押さえているのか確認し合いながら繰り返す。
- ・ 慣れてくると、「What's this?」や「What color is it?」など、子どもたちが問い、指導者が答えたものを指で押さえる活動に発展する。

### (2) 「ロンドン橋落ちた」ゲーム

- ・ 全員で円を作る。二人組の橋を3～4つ作る。
- ・ 「ロンドン橋落ちた」の曲に合わせて、「What's your name? What's your name? ...」と、歌いながら橋の下をくぐる。
- ・ 曲の最後に橋が下がり、捕まった児童は、「My name is○○.」と自分の名前を言う。

### (3) 名刺交換ゲーム

- ・ 互いに名前を言い合ったり、インタビューをし合ったりしながら、名刺やカードを交換していく。

### (4) ジェスチャーゲーム

- ・ HRT は、フラッシュカードを持って教室の後ろに立ち、前に立つ ALT に体調を表すフラッシュカードを提示する。
- ・ 前を向いている児童は、前に立つ ALT に How are you? と声を合わせて尋ねる。
- ・ ALT は、HRT が提示したカードのジェスチャーをする。
- ・ 児童は、ALT のジェスチャーを見て、何を表しているのか英語で答える。
- ・ 何回も繰り返す。慣れてきたら、1セットの時間を計る。
- ・ ALT と役割を変更し、グループごとに、1セットの時間を計り競い合う。

### (5) ミッシングカードゲーム

- ・ 黒板の前に、グループごとに列に並び座らせる。
  - ・ 1列目は立ち、後ろを向かせる。
  - ・ 指導者は、あらかじめ黒板に貼ったカードから1枚取り隠し、他をシャッフルする。
  - ・ 1列目を前に向かせ「What's missing?」と問う。
  - ・ 児童は、ALT の持っているカードを予想し、ジェスチャーをしながら答える。
  - ・ 次に二列目が立ち、繰り返す。
- ※ 单元によっては、「What's missing?」ではなく、「What's this?」や「What do you want?」と一斉に発声してもよい。

## (6) インタビューリレーゲーム

- ・グループを4つ(A,B,C,D)作り、それぞれ1列に並ぶ。ALTはAとBの前に立ち、HRTはCとDの前に立つ。1番前の児童が立ち、AとB、CとDが互いにダイアログを言い合う。指導者の合格をもらったら、列の後ろに回り、二番目の児童が挑戦する。全員が言い終わったら、座って終了。
- ・あいさつの後、互いにじゃんけんをする。勝った人は後ろへ回り、負けた人はもう一度あいさつをする。全員が言い終わったら座って終了。

## (7) かるたゲーム

- ・グループを作り、机の上にかるたをランダムに置く。
  - ・指導者は単語の名前をテンポよく言い、児童はリズムに合わせて繰り返し言いながら、かるたを取る。
- ※慣れてきたら、児童が一斉に What's this? や What color is this? と尋ね、指導者がテンポよく色を答えるようにする。

## (8) キーワードゲーム

- ・黒板にカードを並べて提示する。
  - ・グループを作り、机の上に消しゴムやハンカチを1つ置く。
  - ・指導者は1枚キーワードとなるカードを選ぶ。
  - ・指導者は単語をテンポよく言い、児童はリズムに合わせて繰り返し言う。
  - ・数回繰り返す。キーワードの単語を言われたら、児童は素早く消しゴムを取る。
- ※慣れてきたら、児童がテンポよく一斉に What color do you like? や What color do you want? と問い、指導者が I like ○○. と答える形で繰り返す。

## (9) キーワードかるたゲーム

- ・黒板にカードを並べて提示する。
  - ・グループを作り、机の上にカルタをランダムに置く。
  - ・指導者は1枚キーワードとなるカードを選ぶ。
  - ・指導者は単語をテンポよく言い、児童はリズムに合わせて繰り返し言う。
  - ・指導者がキーワードとなる単語を言えば、児童はリピートしながら、そのカードを取ることができる。
- ※慣れてきたら、児童がテンポよく一斉に What number? や How many? How old are you? と質問、指導者が答える形で繰り返す。

## (10) カラーバスケット

- ・5~6色のカードを作り、一人一色ずつ配布する。
- ・座っている児童が、「What color do you like?」と問う。
- ・中に立っている児童が、「I like ~.」と答える。答えた色と同じカードを持っている児童が、席を移動する。
- ・席に座れなかった児童が、次に答える役になる。

### (11) カラータッチゲーム

- ・事前に教室にピンクやオレンジ、茶色、緑色のものを掲示しておく
- ・“I See Something Pink”の歌を歌い、“Find something pink!”という歌詞の合図で、言われた色のものを探してタッチする。

### (12) カラー&形ビンゴ

- ・二人組のペアに、ビンゴカード1枚とおはじきを8つ配布する。
- ・児童が What's this?と問い、指導者は形を答える。
- ・児童が What color is it?と問い、指導者は色を答える。
- ・形と色が同じものが、ビンゴカードにあったら、おはじきを置く。
- ・どのグループが初めにおはじきを8つ置けるかを競う。

### (13) 伝言ゲーム

- ・5人～6人のグループを作り、それぞれ1列に並ぶ。
- ・ALTは、教室の後ろに立つ。
- ・一番うしろの児童とHRTは、ALTに課題を聞きに行く。
- ・列の後ろから前へ伝言していく。
- ・一番前まで進んだグループは、黒板の前で待つHRTに報告する。
- ・答え合わせをし、早さや正確さでポイントを付ける。

### (14) How old are you, Mr. Wolf? ( What time is it, Mr. Wolf?)

- ・全員教室の後ろに移動する。
  - ・教室の前に残ったALTは、初めのMr.Wolfになる。
  - ・子どもたちが How old are you?と尋ね、Mr.Wolfが好きな年齢を答える。
  - ・子どもたちは、Mr.wolfが言った数だけ、歩数を数えながら前へ進む。
  - ・Mr.wolfが、Zeroと答えると、子どもたちは一斉に後ろへ逃げる。そのとき、Mr.Wolfにタッチされた人は、次のMr.Wolfに加わる。
- ※数回繰り返す。  
《参考》 What time is it , Mr. Wolf ? <http://genkienglish.net/MrWolfj.htm>

### (15) What's in the box?

- ・グループに分かれて、前を向いて座る。
- ・箱の中に、野菜や果物のカードを入れる。
- ・代表が前に来て、箱の中に手を入れる。
- ・児童全員で” What's in the box?と質問する。
- ・手を入れた児童が答え、正しければポイントをゲットする。
- ・そのものに対して、Do you like \_\_\_?や What color is this?と、既習内容を使った質問をする。
- ・その質問に答えることができれば、さらに1ポイントもらえる。

### 資料3. 英語教育における小学校と中学校の 連携に向けて

## 1. 中学校英語教育の充実

2020年に小学校、2021年に中学校で全面実施される新学習指導要領は、指導者が「何を教えるか」だけでなく、「英語を使って何ができるようになるか」と、児童生徒の視点に立った学習指導要領になっている。「小学校中学校の9年間を通した生駒市英語教育のCAN-DOリスト」も、中学校卒業時の目指す子どもの姿をもとに、小学校1年生から中学校3年生までの各学年の学習到達目標を、「聞く」「読む」「話す（やり取り）」「話す（発表）」「書く」の5領域において「○○ができる」という形にまとめたものである。今後、このCAN-DOリストを指導者と児童生徒が共有し、各目標の達成に向けて学習していくことになる。

効果的な指導方法については、今後採択される検定教科書等の内容に沿って研究を進めていくことになるが、新学習指導要領の中で大きく変更された点について確認する。

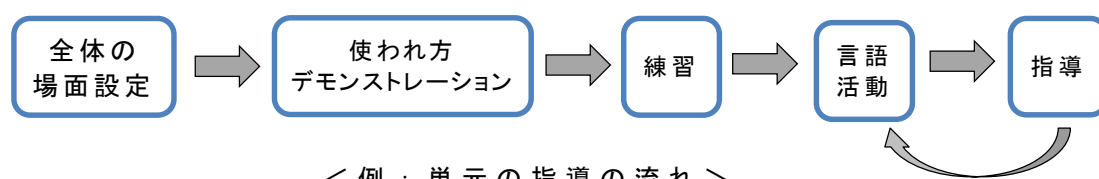
### ① 言語活動の充実

新しい学習指導要領の改訂の要点の中に、次のことが述べられている。

語彙や文法の知識がどれだけ身についたかに主眼が置かれるのではなく、児童生徒の学びの過程全体を通じて、知識・技能が、実際のコミュニケーションにおいて活用され、思考・判断・表現することを繰り返す中で獲得され、学習内容の理解が深まるなど、資質・能力が相互に関係し合いながら育成されることが必要である。

つまり、生徒は言語活動の中で既習の知識や経験と新たな知識と経験を活用しながら、思考力、判断力、表現力を高めていく。そして、言語活動の振り返りの中で、文法的事項や表現方法を確認し、さらに繰り返すことで正確さを培いながら定着していく。

言語活動とは、「実際に英語を用いて情報や互いの考えや気持ちを伝えあう活動」を意味する。言語活動のための練習だけで終わることの無いよう、また、「活動あって学びなし」の授業にならないよう、指導に留意しなければならない。



<例：単元の指導の流れ>

### ② 英語による英語の授業

小学校において、学級担任がALTと共に進める外国語活動を体験している生徒にとっては、英語で行う授業に対して違和感が少なくなっている。中学校においては、生徒の英語に触れる機会を充実させるとともに、授業を実際のコミュニケーションの場とし、生徒が英語で話すことに対して自然に捉えられるよう、授業を英語で行うことが求められている。英語で授業を行うためには、クラスルーム・イングリッシュやスモール・トークを活用し、授業を英語でマネジメントすることが必要である。リキャストにより、生徒の英語の正確さを高めることも重要である。しかし、複雑な文法事項の補足説明など、生徒の理解度に応じて、補助的に日本語を使った方が有効である場合もある。生徒の実態に応じて工夫しながら授業づくりを行いたい。

## 2. 小学校と中学校の連携について

小学校の言語活動を中心とした外国語活動から中学校の外国語科へと、小学校・中学校が一貫し児童生徒の学びを確かなものにするためには、小・中学校教員の連携が重要である。まずは、それぞれの校種での「指導目標」「指導内容」「指導方法」を知ることから始めたい。情報共有の方法としては、以下のことが考えられる。

- サイボウズの共有フォルダーの活用
- デジタル教材の内容の共有（教師用 PC にインストール済み）
- 校区内小・中学校の情報交流会
- 相互の授業参観
- 公開授業、研究協議への参加

これらを通して、小学校で育んだ「簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力」が、中学校で途切れることなくスムーズに接続できるよう、それぞれの学校において指導方法や指導体制の工夫を考えたい。

### 実践① 小学校高学年における学級担任と中学校英語教員との T.T による授業

- ・指導形態：T1 学級担任 T2 中学校英語教員
- ・授業時数：年間 70 時間中、中学校英語教員との T.T は 35 時間
- ・授業の様子：学級担任が指導を進める中、発音の練習や会話の状況設定のデモンストラーションを中学校英語教員が担う。
- ・子どもの様子：中学校の先生に教えてもらう期待感があり、意欲的に取り組んでいる。中学校へ入学しても同じ先生に教えてもらえるので、指導方法の変化が小さく、中学校でも安心して授業を受けている。

### 実践② 中学校 1 年における少人数指導による授業

- ・指導形態：学級を名簿順に 2 グループに分けて少人数で指導している。定期テストごとに、指導者を入れ替えている。
- ・授業時数：年間 140 時間
- ・授業の様子：クラスルーム・イングリッシュやスモール・トークを取り入れながら、言語活動を中心とした授業を行っている。指導は、ICT を活用しながら英語で行っている。難しい文法の説明や個別に支援が必要な場合は日本語で指導している。
- ・子どもの様子：小学校での学習内容を中学校でスムーズに引き継ぎ発展させることができ、言語活動に抵抗感を持たずに意欲的にコミュニケーションを図っている。

